



# 青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323  
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/平成29年2月28日



組合員新年会



沼田会長から表彰状を贈られた西中副支部長

当日は、組合の藤本専務理



感謝状贈呈式

組合員が一同に会して新年を祝う恒例の組合員新年会が、1月6日(金)にホテル青森で開催。今年の新年会には組合員及び来賓合わせ近年最多となる136名が出席し、盛大に執り行われた。

決起大会では青森交通安全協会の沼田会長より青森警察署と連名の表彰状が贈られた。

1月26日(木)、平成28年青森警察署警察協力功労者感謝状贈呈式がアップルパレス青森で行われ、当組合に感謝状が贈られた。

事が出席し、青森警察署の1戸署長より感謝状が手渡された。

組合員が一同に会して新年を祝う恒例の組合員新年会が、1月6日(金)にホテル青森で開催。今年の新年会には組合員及び来賓合わせ近年最多となる136名が出席し、盛大に執り行われた。

新年会では決起大会に続いて、問屋町合同清掃10年賞の表彰が行われ、西理理事長より今年度受賞となった5社へ桶と記念品が贈られた。

その後、新たに組合員となった(株)マキュレ、(株)アトマス、(株)青森読売IS、(株)ブンメー

## 組合員新年会で 交通死亡事故ゼロ7千日達成を祝う

新年の挨拶が行われた後、来賓を代表して、佐々木青森県副知事、小野寺青森市長、津島衆議院議員、日本銀行青森支店の山口支店長から祝辞が述べられた。

続いて「問屋町内交通死亡事故ゼロ7千日達成」を記念

すると共に8千日達成を目指すべく決起大会が新年会内で開催され、多くの出席者の前で記録達成が祝われた。

同支部では後日、達成記念事業として問屋町のロゴを焼き印した「紅白饅頭」を配付。全従業員に行き渡るよう、会員企業に1口サイズの饅頭を人数分贈った。

「問屋町内交通死亡事故ゼロ推進運動」は、昭和61年7月28日から始まり、これまで千5百日達成を目前に3回ほど記録がストップした。平成9年10月28日からスタートした今回は、鬼門の千5百日をクリアすると順調に記録を伸ばし、19年あまりの間、死亡事故ゼロを続け、平成28年12月26日をもって7千日達成を果たした。

表彰状を受け取った問屋町支部の西中副支部長は「会員事業所が一丸となり問屋町内交通死亡事故ゼロ8千日を達成するため交通ルールを遵守する」と宣誓した。

その後、新たに組合員となった(株)マキュレ、(株)アトマス、(株)青森読売IS、(株)ブンメー

の紹介が行われ、青森商工会議所若井会頭の乾杯で祝宴に入った。

「問屋町合同清掃10年賞受賞企業」

▽(株)プリモ  
▽和田ゴム販売(株)  
▽(株)トヨシマ  
▽(株)辰農商事  
▽イーダ(株)

焼き印入り紅白饅頭



焼き印入り紅白饅頭

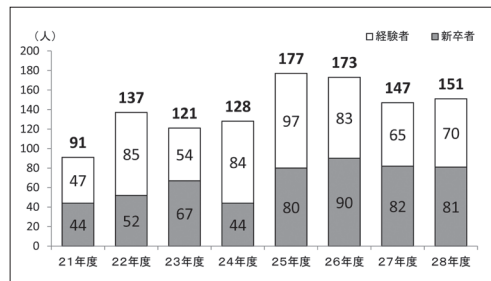
### 青森警察署より感謝状が贈られる

### 平成28年度求人アンケート調査結果まとめ

平成28年度の組合員企業の間屋町内での採用状況を調査する求人アンケートの結果がまとまった。

平成29年3月の新規学卒者（見込みも含む）は、12社で72名が採用予定との回答を得た。

同アンケートでは、平成21年度から経験者（中途採用者）の調査も実施。平成28年度内に間屋町で採用されたのは38社、151名で、そのうち経験者は70名。全採用に占める割合は46%であった。平成25



年度以前は経験者の採用割合が高かったが、最近3年間は、新卒者との採用割合が逆転している。

### 「あおもりカシス」について学ぶ

青森間屋町経営同友会

間屋町の若手経営者や後継者らにより組織される青森間屋町経営同友会の第20回会員交流会が、1月20日（金）にホテル青森で開催され、27名が参加した。

今回は、青森市経済部あおもり産品・企業支援課の佐々木主幹、工藤主査を講師に招き、「あおもりカシスについて」をテーマに講演を行った。青森市のカシスは生産量日本一で、ドイツから導入された当時から品種改良を行わず



同友会 会員交流会

に大切に育てられ、小粒で皮が厚い品種。完熟した果実を一粒一粒手摘みで丁寧に収穫しており、非常に手間がかかっている。平成27年12月には地理的表示保護（GI）制度に第1号として登録された。

佐々木主幹は「カシスにはアントシアニンが多く含まれ、様々な健康効果があることが分かっており、健康食材として注目されている。現在、「あおもりカシス」を使用した商品も数多く製造されており、今後ブランド化を進めて、需要増加や生産者が安定して生産できる販路を確保していきたい」と語った。

### 本格的施設でボルダリング初体験

1月24日（火）に初開催となる間屋町ボルダリング教室（青森間屋町経営同友会受託事業）が行われ、組合員従業員12名が参加した。

ボルダリングとはスポーツクライミングの一つで、人工的に突起物が設置された壁をロープを使わずに登るスポーツ。2020年東京五輪の正式種目にも決まり、大きな注目を集めている。会場となった「Glide Climbing（グライドクライミング）」は、組合員

講演では、「あおもりカシス」の生果実やジャム、スパークリングワインの試食・試飲も実施。カシスの甘酸っぱい味わいに、参加者は大いに興味を抱いていた。

今年度2回目となるフラワーアレンジメント教室（青森間屋町経営同友会受託事業）が1月18日（水）に開催された。同教室には組合員従業員29名が参加した。同教室は、昨年11月に男性限定で開催したところ、女性からの参加希望が非常に多く寄せられたことを受け、青森県花のくにづくり推進協議会の協力を得て、女性も参加可能にして再開された。



フラワーアレンジメント教室

のK・フロスピ（株）が昨年11月に青森市初の本格的ボルダリングジムとして間屋町にオープン。倉庫をジムに改装し、高さ4・5メートルの壁にホールドと呼ばれる突起物を約3千個配置。レベル毎に120のコースが設定され、初心者から上級者まで楽しめる。市内のみならず、市外、県外からも数多く訪れ、オープンから3ヶ月で900名以上が会員登録している。教室では、はじめに小枝店長がルール説明や簡単なコツを指導。参加者は初体験となる壁登りに四苦八苦しながら楽しく汗を流した。



ボルダリング教室

後日参加者から「初めて参加して楽しかったので、これから何回もジムに通ってみたい」と嬉しい報告もあった。再開を望む声も多く寄せられ、今後も継続開催していく。

事務機のコンサルタント

## 青森精機株式会社

本社 ☎030-0131 青森市間屋町二丁目12番23号  
TEL (017) 738-2106(代表) FAX (017) 738-0856

十和田営業所 ☎034-0092 十和田市西一番町10番27号  
TEL (0176) 22-3253(代表) FAX (0176) 24-1192(代表)

冷凍食品・食肉・食鳥・調味料  
海産品・冷凍工ビ・鶏卵・惣菜

## 卸 丸大冷蔵 (株)

本社 青森市間屋町2丁目16の8  
TEL (017) 738-4171(代表)  
FAX (017) 738-8399

営業所 八戸・弘前・むつ  
盛岡・一関・秋田・大館

ビジネスブックカフェ通信 Vol.17

今回紹介するのは、セス・ゴードイン著『セス・ゴードインの出し抜く力』先がわかる人は何を見ているか』(三笠書房) ¥1,500(税別)。

『新しい働き方』ができる人の時代』など、数々のベストセラーを出している人気コメンタリーのセス・ゴードイン氏の新刊です。

本書では会社や個人、製品を他から抜きだした存在にするための方法論が書かれています。「頭のいい人ほど、一面面倒くさいほうを選ぶ」など一見わかりにくいものか

組合50年の歩み 第4回

「モーターゼーションと第二問屋町拡張②」

組合では、昭和54年10月に特別委員会を設置して、卸地の規模拡張に伴う再開発計画(第二次拡張計画)の策定に着手した。高度化事業を活用するため、中小企業事業団(現在の中小企業基盤整備機構)や青森県の事前指導を受け、昭和56年度からの計画実施にゴーサインが出された。

昭和57年度までに用地買取等を終え、昭和58年5月から、問屋町の北側に位置する八ツ役地区、約8万坪

ら、「問いかけるべきは2つの質問、何が出来るか、次は何をするか」「頭のいい人は、決断」と、行動が早い」など、常に心がけておきたいものまで実践的なアドバイスに満ちています。

業務報告

主要事項

1月 4日▽青森市・青森商工会議所新年祝賀会

- ▽論談同友会新年祝賀会
6日▽組合員新年会
▽安協問屋町支部問屋町内交通死亡事故ゼロ7千日達成決起大会
7日▽大星神社どんと焼き
15日▽青森青年会議所新年祝賀会
16日▽金融審査会
17日▽景観推進管理委員会
▽青森地区労働基準協会労務管理部役員会
18日▽商団連事務局長会世話人会
▽フラワーアレンジメント教室
20日▽問屋町経営同友会第20回会員交流会
24日▽問屋町ボルダリング教室

- 25日▽商団連賀詞交歓会
26日▽あおもりコンピュータ・カレッジ理事会
▽青森警察署警察協力功労者感謝状贈呈式
31日▽あおもりコンピュータ・カレッジ運営委員会
問屋町
ビジネススクール:
17日▽会計経理の基礎の基礎(読解編)①
19日▽会計経理の基礎の基礎(読解編)②
25日▽販売戦略(実活用編)
26日▽Y,sCLUB
(木曜コース)①
27日▽Y,sCLUB
(金曜コース)①

を造成する工事に着手。1年あまりで造成工事を終え、合わせて実施されていた青森市発注の幹線道路も完成した。同時期には、問屋町と第二問屋町を結ぶ「問屋橋」も供用開始となり、7月には呼称も「第二問屋町」に決定(注:住居表示は平成13年11月に認定)。組合員の建築工事も続々と着工し、10月には第二問屋町第1号となる(株)ガスデンが営業開始した。

共同施設の整備も進み、第二問屋町に青森問屋町配送(株)が入庫。在庫管理まで行う新たな共同倉庫を竣工。ガソリンスタンドや福利厚生施設としてテニスコートも整備された。また、昭和58年には問屋町に「青森市はまなす会館」が完成。体育館や会議室を備

える同施設は組合員にも大いに歓迎された。
当時は、組合員に対する福利厚生事業として、大運動会や釣り大会、麻雀大会にトラップ大会なども行われていた。また、昭和59年には青森問屋町経営同友会の企画運営による「問屋まつり」が初開催。同イベントは平成13年まで続く人気企画となった。そのほか、現在の「問屋町合同清掃」の前身となる問屋町一斉清掃や、今も続く「問屋町内交通死亡事故ゼロ推進運動」が始まったのもこの時期であった。
この間、問屋町へのアクセスも改善。問屋橋の開通はもろろん、昭和59年には青森環状道路が青森十和田線から西バイパスまで接続。昭和61年



第二問屋町造成完成時

TOTO 水彩プラザ
パッキン一枚からウォシュレット取付け
TOTO和洋リモデル、水まわりリフォームまで
当社におまかせください。
株式会社ムラバヤシ
〒030-0131 青森県青森市問屋町一丁目8-27
TEL 017(738)4165 FAX 017(738)1852

包装資材・厨房用品・ユニフォーム
ギフト用品・タオル等の総合商社
株式会社 金竹成家
代表取締役 成家昌弘
本社 青森市問屋町1-7-28 TEL 017(738)4701代
FAX 017(738)4706
営業所 弘前市神田2-3-7 TEL 0172(33)7171代
FAX 0172(33)7170

暮らしと住まいの総合商社
東栄株式会社
東北支店
TEL (017) 762-3316
住設事業部 青森営業所
TEL (017) 762-3503
青森市第二問屋町3丁目3番42号

境建材株式会社
〒030-0131 青森市問屋町一丁目14番1号
本社 ☎(017)764-5581 FAX (017)728-7275
工事部 ☎(017)764-5585 左官材料・タイル専門 ☎(017)728-7266
工事部
新建材全般 陶器 瓦 管 左官材料
タイル 衛生器具 陶器 瓦 管
器 器 器 器
部 部 部 部

### ごみ収集・リサイクル回収に係る変更事項

組合では組合員を対象にごみ収集及びリサイクル回収事業を実施しているが、今回2点の変更があった。

1つ目は、パソコンリサイクル回収日が、毎月1回から2カ月に1回へと変更となった。

平成25年12月の実験事業開始時から数えると、2千台を超えるパソコン等を回収してきた当事業であるが、ウインドウズXP終了に伴うパソコンの入れ替えも一段落してきたこともあり、平成29年1月

から、回収日を偶数月の第四水曜日に変更した。同回収日は、回収日の約2週間前に、回収実施についてFAXにて案内。利用を希望する場合は申込が必要となる。

2つ目が、これまで燃えるごみとして収集していたシュレッダー紙を、紙類リサイクル回収で回収することとなった。



パソコンリサイクル回収

青森市が、青森市清掃工場へのリサイクル古紙搬入を厳格化したことに加え、これまで再利用化が難しかったシュレッダー紙も、近年の技術革新によりリサイクルできるようになり、このたびの変更となった。同変更は平成29年3月1日より実施。シュレッダー紙は他の紙類とは分け、中身がわかる透明なビニール袋に入れての排出をお願いする。近年、事業所から排出され



シュレッダー紙は分別し透明な袋に入れる

るごみの取扱いが厳格化され、排出企業の責任が大きく問われるようになってきている。組合では今後も積極的な情報収集、対策に努め、組合員の負担を軽減し、働きやすい環境づくり実現を目指す。

### 団地企業訪問

今回の団地企業訪問では、昨年の9月に新たに組合員となった、(株)マキュレの高橋社長にお話を伺った。

同社は、平成20年3月に設立し、ネット通販を行うECサイトの製作・運営や、商品の写真撮影から画像加工まで手掛け、ローコストで高品質なサービスを提供している。更に、りんご加工食品等の研究を行い、現在は県内90近くの店舗で商品を販売している。

「りんご加工食品事業のスタートは、亡き父が残したりんご茶のレシピがきっかけでした。お裾分けでもらった山ほどの

りんごを無駄にせず、いつまでもおいしくいただけたいものか」という父の思いを受け継ぎ、試行錯誤を繰り返して商品化したりんご茶は、平成20年度に青森県ふるさと食品コンクールで会長賞を受賞しました。その後、りんご香茶、

林檎けんぴ、大麦若葉とプロテオグリカン、りんご粉末をミックスした青汁「AO+」、りんごあめスウィーツキットが誕生し、これらの商品を通じてりんごの国青森の新しい「おいしい」を全国に伝えていきたいと思っています」とPR。



(株)マキュレ 代表取締役 高橋 裕孝 氏

IT業界の現状について尋ねると「ネット通販は年々規模が拡大

しています。取引先の成長に伴って当社も成長していくため、ネット通販の増加と比例して仕事量も多くなっています。うれしい反面、人材の確保や教育が現在の課題となっています」と語る。

今後の取り組みについて話が及ぶと「1月から大手家具企業との取引が福岡でスタートしました。今後は青森と東京に加えて福岡にも拠点を構え、「アンサンブル・ヒーロー(緑の下力持ち)」をキーワードに、お客様が最大限活動できるようにしっかりとサポートしていきます」と力強い。

問屋町の印象について聞くと「これまではごみの種類ごとにそ

れぞれの業者に依頼していましたが、団地内では組合が一括して窓口になっているのでとても助かっています。研修に関しても、身近な所で受講できるので参加しやすく大変ありがたいです。企業が共通で抱えている問題を、組合が集約してサービスを提供してくれるのが問屋町の最大のメリットだと思います」と話してくれた。

健康については「ずっと神経痛に悩んでいましたが、ある時プロテオグリカンを勧められて飲んでみると、痛みが気にならなくなりました。そこから自社商品の開発に繋がりました。AO+は毎日欠かさず飲んでいきます」と微笑んだ。

### 編集後記

平成9年10月28日からスタートした「問屋町内交通死亡事故ゼロ運動」が、平成28年12月26日で7千日を達成しました▼7千日は19年2ヶ月にあたります。また

当団地は事業車両・従業員車両併せて3千台を超える極めて交通量の多い場所です。ここで青森市内安協32支部の中で桜川団地支部について2位になったことは誇らしいことです▼死亡事故ゼロ運動は、昭和61年から始めたのですが、実はこれまで千五百日を前に3回挫折しています。その意味でも7千日は自賛ですが快挙でした。これからも団地一丸となって8千日を目指し運動を継続します▼転話題12月号の続きですが、古井祐司氏の「健康経営を阻む6つの罠」とその対策の続きをご紹介します▼今回は②の「個人情報を守る罠」についてです。健康診断を受けたとしても、健康診断の結果を各従業員に渡しおしまい、という経営者は少なくありません▼個人データを見ているのかという気持ちもありますし、個人情報保護法が施行されてからは、より個人データを確認することに対する気持ちは生まれている人も多いためです▼ですが、事業所の健康診断も特定診断でも、社員の健康管理を目的とする場合は、個人情報保護法の適用外(他法優先規定)となっており、事業主は労働安全衛生法に基づき健康診断を踏まえて従業員の健康管理を行う義務があります▼つまり事業主は、健診結果から適切な対策を立て、労働環境の整備や必要な措置を講じていくべきです▼この稿続く(藤本)

続けられるおいしい青汁は青森市問屋町から全国へお届けしています。

**AO+**  
BARLEY GRASS POWDER

こだわりの原料  
青森 プロテオグリカン

こだわりの原料  
青森 青森りんご

こだわりの原料  
産地直産 大麦若葉

お問合せは 0800-800-2478 (平日10時~17時)

選べてうれしい新提案  
玄関のリフォームなら

**かんたん ドアリモ**

冷え対策は、窓から。

**MADO** ショップ  
青森中央店

長内サッシ工業株式会社  
青森市問屋町2丁目12-35  
TEL 017-(728)-1311